

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セレスポ

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 村田 修一

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,914	18.8	10	—	12	—	11	△7.2
24年3月期第2四半期	3,296	△7.2	△86	—	△30	—	12	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	2.12	—	—	—
24年3月期第2四半期	2.28	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
25年3月期第2四半期	6,980	—	3,549	—	50.8	647.16
24年3月期	6,662	—	3,592	—	53.9	654.96

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,549百万円 24年3月期 3,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	8,500	12.5	130	181.9	140	3.0	70	△18.2	12.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,703,500 株	24年3月期	5,703,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	219,047 株	24年3月期	218,642 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,484,711 株	24年3月期2Q	5,486,299 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理.....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	4
4. 四半期財務諸表.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書.....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
5. 補足情報.....	10
(1) 部門別売上高.....	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等の好影響が出始めているものの、一方で、欧州債務問題や、中国の景気減速懸念、長期化している円高水準の影響等により、国内景気はなお不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社では今期より開始した「中期経営計画」に基づき、会場設営を中心とする運営体制から、イベント・プロモーションの総合請負企業へと発展・拡大する戦略を打ち出し、企画・制作・運営機能を含む総合的な機能を充実させた、いわゆる「イベント・ソリューション・パートナー企業」を目指して、収益性の向上に取り組んでおります。

売上高に関しましては、震災復興需要等もあり、総じて順調に推移して大幅な増収となりました。

利益に関しましては、売上高の増加に伴って売上総利益が増加し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,914百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は10百万円(前年同期の営業損失は86百万円)、経常利益は12百万円(前年同期の経常損失は30百万円)、四半期純利益は11百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[セールスプロモーション]

展示会・販売促進等の増加により売上高は865百万円と前年同期比37.0%の増収となりました。

[セレモニー]

新東名高速道路の開通式や、東北地区を中心として地鎮祭・竣工式等の増加により売上高は716百万円と前年同期比32.9%増収となりました。

[フェスティバル]

地域振興イベント等の増加により売上高は701百万円と前年同期比38.3%の増収となりました。

[スポーツ]

日本陸上選手権大会、国民体育大会競技等の継続受注があったものの、アジア陸上選手権大会が日本国内で開催されなかったこと等により、売上高は672百万円と前年同期比27.9%の減収となりました。

[コンベンション]

記念式典・パーティー等の増加により売上高は664百万円と前年同期比42.7%の増収となりました。

[レクリエーション]

運動会・納涼祭の増加等により売上高は271百万円と前年同期比71.9%の増収となりました。

[その他]

テントの売渡し・貸し出しの需要が減少したことにより、売上高は23百万円と前年同期比62.4%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は前事業年度末に比べて318百万円増加し、6,980百万円となりました。これは主に現金及び預金が194百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が418百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて361百万円増加し、3,431百万円となりました。これは主に買掛金が119百万円、短期借入金が100百万円、1年内返済予定の長期借入金が63百万円、長期借入金が128百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて43百万円減少し、3,549百万円となりました。これは主に利益剰余金が21百万円、その他有価証券評価差額金が21百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて194百万円減少し、622百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は474百万円(前年同期は資金の獲得62百万円)となりました。これは主に売上債権の増加額が432百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は47百万円(前年同期は資金の獲得27百万円)となりました。これは主に貸付金の回収による収入が29百万円、利息及び配当金の受取額が24百万円、それぞれあったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は232百万円(前年同期は資金の獲得2百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が407百万円、リース債務返済による支出が17百万円、配当金の支払額が32百万円それぞれあったものの、短期借入金の純増減額が100百万円、長期借入による収入が600百万円、それぞれあったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては本日(平成24年11月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,923	595,640
受取手形及び売掛金	1,120,719	1,539,145
有価証券	27,074	27,084
原材料及び貯蔵品	20,037	21,604
未成請負契約支出金	32,089	192,954
その他	114,675	132,212
貸倒引当金	△38,901	△23,621
流動資産合計	2,065,619	2,485,020
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	402,021	391,930
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	146,306	127,417
有形固定資産合計	3,858,578	3,829,597
無形固定資産		
投資その他の資産	44,732	37,623
その他	753,541	712,366
貸倒引当金	△60,280	△84,107
投資その他の資産合計	693,261	628,259
固定資産合計	4,596,572	4,495,480
資産合計	6,662,192	6,980,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	734,644	853,932
短期借入金	300,000	400,000
未払法人税等	29,919	17,897
賞与引当金	51,975	51,195
1年内返済予定の長期借入金	690,232	753,884
その他	386,194	404,961
流動負債合計	2,192,965	2,481,871
固定負債		
長期借入金	608,114	737,074
退職給付引当金	70,170	69,892
役員退職慰労引当金	51,612	37,762
資産除去債務	40,940	41,037
その他	106,040	63,553
固定負債合計	876,878	949,319
負債合計	3,069,843	3,431,191

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	184,888	163,600
自己株式	△62,277	△62,332
株主資本合計	3,648,683	3,627,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△56,335	△78,030
評価・換算差額等合計	△56,335	△78,030
純資産合計	3,592,348	3,549,309
負債純資産合計	6,662,192	6,980,500

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,296,179	3,914,773
売上原価	2,337,231	2,801,357
売上総利益	958,948	1,113,415
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	565,111	595,456
賞与引当金繰入額	11,056	32,532
その他	468,789	474,465
販売費及び一般管理費合計	1,044,957	1,102,454
営業利益又は営業損失(△)	△86,009	10,961
営業外収益		
受取配当金	45,957	24,403
受取保険金	—	7,931
貸倒引当金戻入額	8,501	—
その他	10,152	4,027
営業外収益合計	64,611	36,362
営業外費用		
支払利息	8,639	9,389
貸倒引当金繰入額	—	23,201
その他	—	1,985
営業外費用合計	8,639	34,576
経常利益又は経常損失(△)	△30,037	12,748
特別利益		
有価証券売却益	10,925	—
投資有価証券売却益	6,762	—
退職給付制度終了益	109,279	—
受取補償金	—	4,782
その他	910	—
特別利益合計	127,876	4,782
特別損失		
投資有価証券売却損	12,218	—
固定資産除却損	128	372
投資有価証券評価損	—	1,154
保険解約損	—	4,474
関係会社株式売却損	14,792	—
特別損失合計	27,139	6,001
税引前四半期純利益	70,699	11,529
法人税、住民税及び事業税	10,742	9,621
法人税等調整額	47,435	△9,713
法人税等合計	58,178	△91
四半期純利益	12,521	11,620

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	70,699	11,529
減価償却費	42,851	45,272
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,239	8,547
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,122	△779
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△223,486	△278
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	666	△13,850
受取利息及び受取配当金	△46,044	△24,499
支払利息	8,639	9,389
有価証券売却損益(△は益)	△10,925	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,154
投資有価証券売却損益(△は益)	5,456	—
関係会社株式売却損益(△は益)	14,792	—
固定資産除却損	128	372
売上債権の増減額(△は増加)	△293,683	△432,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,075	△162,431
仕入債務の増減額(△は減少)	448,752	119,647
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,891	△10,991
保険積立金の増減額(△は増加)	9,700	4,242
長期未払金の増減額(△は減少)	85,780	△29,758
その他	36,745	21,516
小計	83,773	△453,149
法人税等の支払額	△21,430	△21,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,343	△474,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,978	△10,689
無形固定資産の取得による支出	—	△604
投資有価証券の取得による支出	△136,816	—
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	112,014	—
関係会社株式の売却による収入	9,707	—
貸付けによる支出	△1,000	△2,320
貸付金の回収による収入	3,528	29,761
利息及び配当金の受取額	46,046	24,653
敷金及び保証金の差入による支出	△1,377	△13
敷金及び保証金の回収による収入	6,793	7,171
その他	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,868	47,959

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△355,346	△407,388
自己株式の取得による支出	△98	△55
利息の支払額	△8,404	△10,113
リース債務の返済による支出	△17,242	△17,242
配当金の支払額	△16,549	△32,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,358	232,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	92,570	△194,273
現金及び現金同等物の期首残高	640,056	816,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	732,627	622,725

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

(単位：千円、%)

部 門	主要内容	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
		金 額	前年同期比
セールスプロモーション	展示会・見本市	865,048	137.0
セレモニー	地鎮祭・竣工式	716,336	132.9
フェスティバル	市民祭・産業祭	701,276	138.3
スポーツ	ゴルフ・国体・インターハイ	672,516	72.1
コンベンション	記念式典・会議	664,964	142.7
レクリエーション	運動会・納涼祭	271,095	171.9
その他	資材の貸出	23,534	37.6
合 計		3,914,773	118.8

- (注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。
2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。